

福島の子どもたちの土面を展示



福島の子どもたちが作った土面

被災地支援事業「上を向いて遊ぼう!」として、市内の有志で活動するプロジェクト委員会のメンバーが、3月に福島県いわき市の小名浜東小学校を訪問し、小学生に土面作りを指導しました。この事業は、福島第一原発事故の影響を受けた福島の子どもたちを笠間に招待し、夏の思い出づくりのため、今年も同委員会が開催に向けた準備を進めています。製作された約150名の作品は「笠間の陶炎祭」の会場本部付近に展示され、多くの来場者を出迎えました。



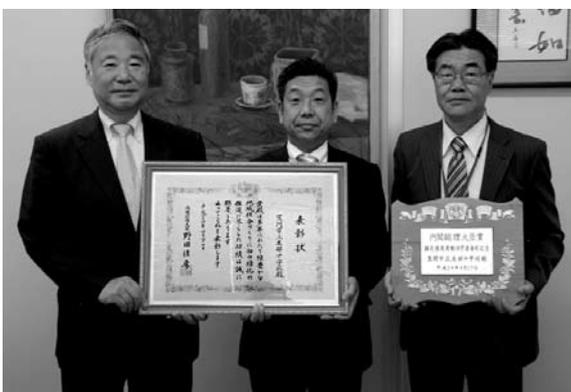
熱心に聴講する参加者

平成24年度 笠間市介護支援専門員研修会の開催

4月19日(木)地域の要介護・要支援の方や、その家族へのよりよい支援に繋げることを目的に、研修会を開催しました。「NPO法人茨城県ケアマネジャー協会理事の能本マネジヤさんをお招きし、『平成24年度介護保険制度改正・報酬改定への理解を深め、今後のケアマネジメントを考える』という演題で、講演をいただきました。市内のケアマネジャー等75名が参加し、知識や技術の研鑽に努めました。

内閣総理大臣表彰を受賞

友部中学校が日ごろから取り組んでいる「花いっぱい運動」の推進、そして環境美化と緑化に努めている活動が認められ、4月27日(金)憲政記念館(東京都千代田区)で開催された第6回「みどりの式典」の中で、「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。授賞式では、野田総理大臣から賞が授与され、式典後のレセプションでは、ご臨席された両陛下からおほめと励ましのお言葉をいただきました。



左から飯島教育長、今泉校長、高野教諭

第10回茨城県アームレスリング選手県大会 (5/13: 友部公民館)

- A-1レフトハンド
 - 75 kg超級 準優勝 小沼嘉暢(押辺)
 - 75 kg級 優勝 浅野良樹(大田町)
 - A-2ライトハンド
 - 優勝 浅野良樹(大田町)
 - 75 kg超級 優勝 栗林憲士(笠間)
 - 第3位 今松孝貴(押辺)
- A-12レフトハンド
 - 75 kg級 優勝 村上哲理(大田町)
- 女子の部レフトハンド
 - 無差別 優勝 秋山初美(旭町)
 - 第3位 小嶋亜伊美(笠間)

第50回名勝桜川剣道大会 (4/29: 桜川市岩瀬体育館「ラスカ」)

- 小学生高学年団体の部
 - 優勝 友部剣友会
 - 準優勝 笠間洗心館
- 小学生低学年団体の部
 - 優勝 岩間剣友会
 - 準優勝 直心館飯島道場
 - 第3位 岩間剣道スポーツ少年団
- 小学生高学年個人の部
 - 優勝 平山竜輝(友部二小)
 - 第3位 吉井達哉(笠間小)
- 小学生低学年個人の部
 - 優勝 金子竜也(友部二小)
 - 準優勝 橋本勇樹(友部小)

寺子屋開校



学力診断テストの様子

5月12日(土)、笠間・友部・岩間公民館で市内小学校5・6年生を対象に、平成24年度寺子屋が開校しました。寺子屋の名称は、江戸時代に武士・僧侶・医者・神職などが教師になり、子どもたちに文章の読み方や書き方、そろばんなどを教えた教育機関であったことから命名しています。

笠間市では、学校の休業日を利用して、学力の向上を目的に寺子屋を開校し、毎週土曜日に、算数・国語の授業を実施していきます。

開校式では、授業の内容や約束事の説明、学習アドバイザーの紹介が行われました。

春季都市緑化祭



植替え体験中の親子

5月12日(土)笠間芸術の森公園イベント広場で、春季都市緑化祭が開催されました。

都市緑化の大切さを楽しみながら感じることで、できる参加体験イベントとして、室内用ミニ観葉植物の植替え教室、グラジオラスの球根のつかみ取りや緑化相談コーナーが開設されました。

また、子ども工作教室としてNPO法人「ノースマーク」による紙飛行機作成教室も開催され、家族連れなど多くの来場者でにぎわいました。

錦鯉の品評会



水槽の鯉をながめる参加者

5月13日(日)茨城県錦鯉愛好会による若鯉品評会が北山公園で開催されました。体形や色のバランスなど錦鯉の美しさを競うもので、毎年春と秋に開催され今回で36回を迎えました。

笠間市での開催は初めてでしたが、天気にも恵まれ、県内外から集まった選りすぐりの錦鯉約120尾の美しさに、訪れた多くの来場者は驚嘆の声をあげていました。



熊谷美喜代さんに文部科学大臣表彰



表彰状を手にする熊谷さん

子どもの読書活動で優れた実践を継続している「読書会&プレイルーム」の代表を永年勤められた熊谷さんが文部科学大臣表彰を受賞しました。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」をうけ文部科学省が平成14年度から学校や図書館、団体(個人)の表彰制度を実施。今年の個人の表彰者は、熊谷さんを含め全国で6人でした。

昭和58年の八幡台子ども文庫の開設に始まり、手づくり絵本や布絵本の製作と提供、公民館・図書館やブックスタートなどでのボランティア活動などが評価されました。